



愛をもって人生にエールをおくる

**IGL** グループ

# たよりIGL

エールを送るコミュニティマガジン

148号

2025年12月25日発行



IGLの夢、それは  
すべての人が生ある喜びを  
わかつあえる理想郷づくり。

卷頭特集  
2026年4月  
「ひかりの森」が  
オープンします

サムエル信愛こどもの園・  
サムエル広島こどもの園 開園45周年  
サムエルこどもの園トピックス  
IGL医療福祉専門学校トピックス  
高齢者事業トピックス

教えて先生!  
教会から「愛の手紙」  
施設だより  
LOVE注入レシピ

Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

2026年4月

## 「ひかりの森」がオープンします

~「自然保育」の大切さは、将来の可能性を引き出す確かなデータベースを作つてあげること~

IGLグループ理事長 永見憲吾 (宇佐川秀輝 文責)



### サムエルの「自然保育」の取組み

サムエルのこども園は子どもが主役です。これまで「社会で生きていくために育てたい力」の一つとして「豊かな感性、五感を育てる」取組みを進めて参りました。

この度、子どもたちの健やかで逞しい成長を、更に後押しするため、「自然保育」の取組みを充実させます。自然保育は各園で進めますが、全体の活動のシンボルとして、安佐北区安佐町後山に約1万6,500平方メートルの森林を確保し、その一部を「ひかりの森」として「遊びの空間」を整備します。2026年4月の本格オープンを目指し準備を進めています。

広島県自然保育推進アドバイザー  
菊間 馨さん



### 「ひかりの森」お披露目会

2025年11月26日(水)、この森において、広島県自然保育推進アドバイザー菊間馨さんをお招きし、園児の保護者を対象に「お披露目会」を企画しました。平日にも拘わらず、50人を超える皆さまが参加してくださいました。前日から心配だった天気も会を始める同時に、森に木漏れ日が差し込みました。菊間さんは常々言われます。

「最近『まっすぐに座れない、平衡感覚がとりにくい、加減がわからないでたたく』のような子どもたちがいる。自然の中で石の上を歩く、でこぼこの坂道で遊び、横たわる枯れた木に登る、昆虫にそっと触ってみる、木に触れ泥だらけで服を汚して遊ぶ…。こうした体験を通して、知らず知らずに、身体感覚、平衡感覚や危険の察知、手加減の具合、触感、好奇心、こうした心身の礎が培われていくもの。小学校に入る前に、いかに多くのこうした自然体験をさせてあげるかだ。小学校までにこうしたデータベース・土台をしっかりと作っておけば、知力、体力、発想力等様々な生きる力が根をはり身につくと考えている。多様性の時代だ。小学校に入るまでの過ごし方も様々。自然保育の大切さは、生きる力の礎であり、将来の可能性を引き出すデータベースを作つてあげることだと思っています。」

森の中は  
遊びが無限大!



### 森は学びの宝庫

「倒れそうな枯れ木、落ちそうな枝、蜂の巣など子どもが自ら対処できない「危険」は取り除く必要がありますが、自然そのものが教材となるのです。森は学びの宝庫。」と、その時、一人のお子さまが、石ころだらけの坂道を「よちよち」と登り始めます。

「皆さんこのお子さまに注目してください!この足場が悪い坂道を登っていきます。転ばないよう、前かがみになり、石ころの感触を確かめながら、ゆっくりと…。」

まさにこうした体験が知らず知らずのうちに身体感覚や平衡感覚、危険を察知する力を培っていくのです。急に座り込み土いじりを始めるお子様の姿が空気を和めます。



### クマ対策について

気がかりなクマ対策について「隣接する動物園の近くでクマの出没情報があります。これは食べ物の『におい』がするからだと思っています。クマは嗅覚が優れ遠くにおいをかぎ分けることができます。この森については食べ物となるものをなくすることです。多くの人間が居ることを知らせれば、フェンスで囲まれたこの森に敢えて近づくことは考えにくくなります。ただし、弁当がらなど食べ物を残せば人間と食べ物が結びつき、クマが近づく要因になります。もしも遭遇した時のために、「クマ対策スプレー」の取り扱いについてもお話をありました。また、「マダニ」対策に関わるお話をいただきました。



初対面でも  
すぐにお友だちになれたね!

4月の本格オープン時は隣接する旧国際交流センターを一部改装し、子どもたちの休憩や作業の場として活用し、危機管理上の避難場所にもなる多目的スペースが完成しています。将来は、地域貢献の一環として、幅広くご協力をいただきながら、開放し、「後山の賑わいづくり」に繋げたいと考えております。

「ひかりの森」は、まさにこれから育てていく「森」です。

子どもたちの健やかで逞しい成長を後押しするため、保護者・こども園の皆さま、その他関係者の皆さまのご理解とご協力ををお願いいたします。

感覚を確かめながら  
ゆっくり、ゆっくり



### さまざまな体験ができる!

『警察犬ごっこ』

しきびの葉の香りを確認し「さあこの森で探してみよう」  
※五感の中で難しいとされる「香り」の感覚を培います

『手押しポンプでどろ遊び』

井戸に手押しポンプ、ジャージャー水の使い放題  
自然の「泥遊び場」の完成です



午後は各園の保育士の皆さんを対象に会を進めました。即席で「どんぐりを使ったやじろべえ」、「落ち葉パズル」、「枯れ葉を使ったイマジネーション遊び」など森の教材を使った遊びが次々と紹介されます。「森の中に同じものは一つとしてありません。遊びは無限に広がっています。」菊間さんの言葉に楽しそうにうなづく保育士の皆さんのが印象的でした。

当日は、菊間さんの分かりやすく、歯切れのよいお話を引き込まれ、あっという間に、時間が流れました。改めてお忙しい中、講師をお引き受けいただいた菊間さんにお礼を申し上げます。「ひかりの森」にふさわしく明るく活気のある「お披露目会」となりました。



## 乳幼児保育・教育事業 Topics 2025年

## 開園45周年を迎えて

サムエル信愛こどもの園・サムエル広島こどもの園は今年、開園45周年という大きな節目を迎えました。節目の年を迎えたこと、これまでの歩みに感謝の気持ちを込め、11月9日(日)、マエダハウジング安佐南区民文化センターにて記念行事「45周年記念式典・広島ジュニアマリンバアンサンブル演奏会」を開催いたしました。



笑顔でお出迎えしました



理事長によるあいさつ



当時は300人くらいのお客さんが会場に足を運んでくださいました。

お祝いの気持ちを込めて、会場のみなさまと一緒に学園歌「サムエルのこ」「せかいじゅうのこどもたちが」を歌いました。



第2部は広島ジュニアマリンバアンサンブルのみなさまによる“マリンバコンサート！”小学生から高校生のメンバーで、世界中の平和を願い、元気いっぱいの演奏を聞かせてくださいました。会場の子どもたちも楽しくて思わず体が動き出し、口ずさんだり手拍子をしたりしながら楽しみました！

これからも子どもたちが安心してのびのびと過ごせる園づくりに努めていくことはもちろん、地域のみなさまから愛される園づくりに努めてまいりたいと思います。

## サムエル東広島こども園の大規模修繕工事について

令和7年3月1日より開始した、サムエル東広島こども園の大規模修繕工事が8月31日に終わりました。

## 工事概要

[構造]鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造  
[規模]建築面積:1200.22m<sup>2</sup> 延床面積:1983.03m<sup>2</sup>の内装・衛生設備改修工事、ダムウエーター修繕工事、照明器具取替工事他  
・保育室、事務室、廊下の改修  
1階の廊下、保育室はタイルカーペット仕上げ(安全性、音の吸収、温かさ)廊下の壁塗装材にウィルス対策塗料を使用  
・バルコニー床の張替え  
・照明器具のLEDへ取り換え、保育室は調光式のダウンライトに変更

## 東広島こどもの園の概要

■各フロアの主な設備  
[1階]エントランス、事務室、相談室(防災センター)、子育て支援センター、厨房、0歳児:2部屋、1歳児:2部屋、2歳児:2部屋  
[2階]プレイホール、幼児の部屋:7部屋、多目的室  
■幼児の対象年齢、定員数(名)  
年齢 0 1 2 3 4 5 合計  
定員 24 36 36 56 52 51 255  
■職員数  
[全職員]69名(正職:38名(育休2名)、非常勤:28名(育休1名))  
[職員の保育士数]59名(正職:36名(育休2名)、非常勤:20名(育休1名))



## サムエルのクリスマス



3歳児～5歳児 みんなでクラスごとに聖劇(イエスさまのお誕生の劇)をします。



## アドヴェントカレンダー

アドヴェントが始まる毎日小さなお話を聞きます。そのお話のシンボルをカレンダーに飾ってイエス様のお誕生日を祝います。



## アドヴェントクリンツ

1週間に1本ずつローソクをともし、4本目がクリスマスになります。

※毎日、小さなシュトーレンというケーキをいただきます。とってもおいしいです。



## 各おへやが色々な飾りをつくります

アドヴェントが始まる毎日お家で嬉しいこと楽しいこと頑張ったことがあったときクリスマス献金をします。お家の人と献金箱をつくります。



## 大好評！サムエルのシュトーレンを販売します



保護者様からの熱いご要望にお応えし、このたび『サムエルシュトーレン』の販売を開始しました。園長先生とサムエルキッチンスタッフによる特別レシピをもとに、モカナキッチンさんに委託して製造・販売を行っています。今回は、たよりIGLをご覧くださった方に限り、特別に2026年1月も数量限定でご購入いただけます。なお、売り上げの一部は、ささやかではありますがあなたの寄付として役立たせていただいております。

※予約受付は12/25(木)～1/9(金)、受け取り期間は1/17(土)～1/31(土)のモカナキッチン営業日となります。  
(2026年度は11月からの受注生産のみです。)ご予約は『サムエルシュトーレン』ホームページより受け付けています。▶▶▶▶▶

\*サムエルシュトーレン  
大サイズ ¥2,000(税込)  
小サイズ ¥1,000(税込)



## 卒園生からのエール！

サムエル西条こどもの園 2015年卒園  
しいば そうご  
椎葉 奏汎さん  
広島県立黒瀬高等学校2年生



友だちとスクーターやサッカー、鬼ごっこや海賊船ごっこ等で遊んだり、先生にお気に入りの絵本を読んでもらうのが大好きでした。

サムエル西条で和太鼓と出会い、小中も続け、現在は黒瀬高校和太鼓部養訓太鼓で演奏活動を行っています。昨年けんみん文化祭で最優秀賞を受賞し、10月に長崎で行われた国民文化祭に出演しました。今は2月の定期演奏会に向け練習に励んでいます。僕にとって和太鼓は、かけがいのないものになりました。



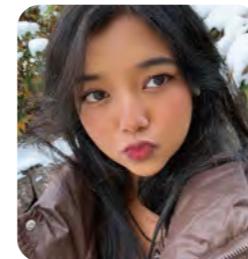
右から2番めが奏汎さん



今回から、IGL医療福祉専門学校でどのような学びがあるかを、一人の学生にフォーカスを当てて紹介していきます。初回は国際教養コミュニケーション学科で学ぶネパールからの留学生B K サムジャハナさんです。

#### 「まず、どうして日本に留学したのか教えてください」

ネパールでは小学校で、日本について勉強します。原爆ドームのことなど、そのときに知りました。そのころから日本に興味を持っていました。ネパールでは、きちんとした教育を受けても、就職が難しいという現実があります。そして最近は、男性だけでなく女性も働くことでよりよい生活ができると考えられるようになったので、私も日本で勉強して、いい仕事をしたいと思いました。日本は特に安全で、私のような女性でも安心して暮らせるというところが、日本を選んだ一番の決め手です。



#### 「現在、IGLではどんなことを学んでいますか」

国際教養コミュニケーション学科では、日本語の勉強だけでなく、日本の文化なども学んでいます。生け花や侍(劇団の方に来ていただき、日本の礼儀作法や立ち回りを教えてもらう)の授業が印象に残っています。特に好きな授業は会話の授業です。どんな状況で、どんな会話をすればいいのかを学ぶのは、とてもおもしろいです。

#### 「日本で大変なことはなんですか」

毎日の生活が一番大変です。日本語だけではなく、ルールや制度など、わからないことが多いです。ですが、その中で生活することで、自分を管理することができるようになりました。例えば明日はアルバイトだから、今日は早く寝て明日に備えるとか、体が病気にならないように料理も考えて作ったりできるようになりました。



#### 「学園祭はどうでしたか」

グループでネパールダンスのゲームをしました。お客様集めに苦労したりしましたが、日本人のみなさんがどう感じるか、どう説明すれば伝わるか考えるのはとても大変で、楽しかったです。お子さんも来てくれて、うれしかったです。

#### 「IGLを卒業した後は」

兄のいる千葉県にある介護の専門学校に進みます。実は去年、受験して不合格になった学校でしたが、どうしても行きたい学校だったので、もう一年がんばって再チャレンジすることに決めました。それで国際教養コミュニケーション学科に入學し、日本語能力試験N3合格を目指に、勉強と生活の両立をがんばりました。今年はN3に合格し、専門学校からも合格をもらって、とてもうれしかったです。

介護の勉強を選んだ理由は、ネパールに住んでいたとき、同居していたおじいさんの手伝いをしたいと思っても、うまくすることができなかつたことがきっかけです。私にとっては「小さなお手伝い」でも、おじいさんにとっては「大きな助け」になるのにと、悲しかったので、日本に来て介護を勉強したいと思いました。

#### 「日本で生活する外国人として、日本の方にメッセージはありますか」

私から日本人のみなさんへのメッセージは、「ありがたい」の一言です。異国の生活で大変なこともあります、出会うみなさんがあたたかく、思いやりを持っていつでも助けてくれるおかげで、安心して学ぶことができます。

サムジャハナさんの一日のスケジュール	
午前7時	(起床)朝ごはんを食べて、学校の準備をして登校
午前9時	(学校)授業～午後3時まで
午後4時	(帰宅)軽く食べて、2、3時間の睡眠
午後10時	アルバイト～午前5時まで



彼女を表す言葉は何かというと、「心の温かさ」「賢さ」そして「強さ」です。今の彼女を作ってきたのは、彼女のたゆまぬ努力です。これから進む道がどんな道でも、きっと彼女なら実り多きものにしてくれるだろうと、楽しみにしています!



## 専門学校事業 Topics 2025年

### PICK UP! 11/3 IGLフェス!

「専門学校ってどんなところ?」「将来、どんな仕事を目指したらいい?」と考える中高生や、学びなおしを考えている方を対象とした、今年度初めての取り組みとなる「IGLフェス」を開催しました!学び・体験のコースを選択し、「自分らしい」かたちで医療・福祉の理解を深め、歯科衛生士・介護福祉士・鍼灸師・柔道整復師の仕事や社会的役割について知っていただくことができたのでは。カフェブースでは淹れたてコーヒーや抹茶ラテ、軽食もあり、休憩時間にはご家族やお友達と談笑する姿も見られました。参加者さんから「詳しく知らなかった!」「国家資格ってすごい」「選択肢が広がった」などの声があり、学校としても有意義なイベントになりました。

これからも地域に根差した学校を目指し、様々な取り組みをしていきたいと思います!



### PICK UP! 11/15 学園祭

毎年恒例のIGL学園祭を今年も開催しました!

各学科のイベントに加え、神楽やキッチンカーの他に、今年はステージ発表にクイズ大会などもあり、例年以上の盛り上がりでした!「飯室神楽団」による演目「弓八幡」では、衣装や鳴り物も圧巻の力強い演舞で、小さなお子様から地域の方々、そして本校に在籍する学生・留学生も大興奮でした!また、多くの留学生が色とりどりの民族衣装を身にまとい、母国の紹介や踊りを披露してくれて、母国を想いながら日本で生活する留学生の本気と心強さを感じることができました。

そして、皆さんお待ちかねのお昼ご飯は、ケバブやうどん、クレープのキッチンカーに、ネパール料理や三原市の銘菓などの販売があり、笑顔の絶えない時間となりました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました!



### IGLの 国家資格者養成

### 2大特色

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報



ホームページ

#### 1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

#### 2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%!

専門学校の情報はIGL YouTube CHANNELでご確認ください! ▶



## 高齢福祉事業 Topics 2025年

### 特養ナーシングホームゆうゆうの大規模修繕工事が令和7年3月より始まっています

今回の大規模修繕工事の特徴は、ショートステイの定員を削減(13名→8名)することで各フロアの余剰面積を確保しました。その上で、一部居室等の間仕切りを変更し、スタッフルームの拡充や狭隘居室の拡充、トイレの移設、倉庫の新設を行いました。

現在2基あるエレベーターのうち、小エレベーター(2階~屋上階)を改修し、地下1階まで通じさせ、地下浴室への移動の利便性を向上しました。

#### 大規模修繕工事の内容

- ・厨房改修、外壁塗装及び2~4階テラス防水工事
- ・内装(床、壁、天井クロス貼替)、トイレ改修、スタッフルーム改修
- ・エレベーター改修工事

#### ナーシングホームゆうゆうの概要

敷地面積:1,958m<sup>2</sup>、階数:地上4階、地下1階、延床面積:3,784.69m<sup>2</sup>

#### ■各フロアの部屋数と主な設備

[地下1階] 洗濯室(大浴場1、小浴場1、特浴1)、洗濯室

[1階] 事務所、医務室、会議室、デイサービス

[2階] 居室、厨房、休憩室、スタッフルーム

[3階] 居室、浴室、スタッフルーム

[4階] 居室、スタッフルーム、ホール

■定員 現行:特養入所83名、ショートステイ:13名

→改修後:特養入所:83名、ショートステイ:8名

#### ■ナーシングホームゆうゆうの沿革

[開設] 1985年(昭和60年) [増築] 1989年(平成元年) 定員30名増、1996年(平成8年) 新館1階・地下

[居宅介護支援事業所開設] 1999年(平成11年) [福祉用具貸与事業所開設] 2000年(平成12年) [デイサービスセンター開設] 2004年(平成16年)



### 天皇陛下より御下賜金(ごかしきん)を賜りました

特別養護老人ホームナーシングホームゆうゆうは、1985年(昭和60年)7月10日の開設以来、おかげさまで40周年という大きな節目を迎えることができました。そして、この節目の年に、天皇陛下より御下賜金(ごかしきん)をいただくという、大変光栄な機会に恵まれました。

この御下賜金は、社会福祉の事業に積極的に取り組む、特に優良な民間の施設や団体に対し、天皇陛下からお見舞いと激励の意味を込めて贈られるものです。

今回の栄誉を、職員一同、心からの励みといたし、これからも、ご入居者の皆様が、安心して快適な毎日を送れるよう、一人ひとりに心を配り、より良いサービスの提供に努めてまいります。



永見理事長に伝達されました



### 第8回ひろしまケアコンテストで優秀賞を受賞

「第8回ひろしまケアコンテスト」において、社会福祉法人IGL福祉会から3名の職員が出席しました。

このコンテストは、公益社団法人広島市老人福祉施設連盟が主催し、介護のプロとしての技術や誇り、そしてご利用者の笑顔と安心を追求する日頃のケアを形にして発表する場です。

#### ●受賞内容のご紹介

激戦の中、介護老人福祉施設IGLナーシングホームシャレーの職員が優秀な成績を収めました!

##### 優秀賞(食事介助部門)

住吉 祐さん(令和5年4月入職)

日頃のケアを形にし、想いを込めて発表した結果、見事に優秀賞を受賞しました。

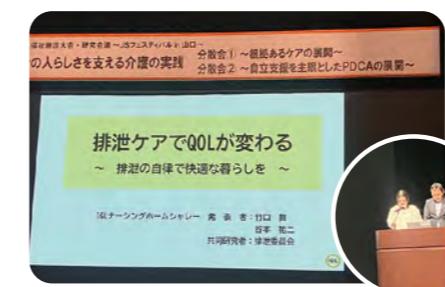


### 排泄ケアの挑戦! QOL向上で笑顔あふれる暮らしへ

IGLナーシングホームシャレーの排泄ケアへの熱意が、この度、2年連続の全国大会出場という素晴らしい結果につながりました。惜しくも入賞は逃しましたが、その取り組みは、入居者様の「尊厳のあるケア」を追求する、かけがえのないものです。

職員一同、全入居者様の尿測データと真摯に向き合い、お一人おひとりのリズムに合わせたパッドやアウターの選定、そしてきめ細やかなトイレ誘導を徹底。その結果、「気持ちがいい」「かゆみが減った」といった喜びの声と共に、布パンツで過ごせる方が増え、日中も活動的に。

「失敗しないための先取りケア」で、不快な思いをさせない快適な毎日を実現。これは、まさに職員と入居者様が心を一つにした成果です。これからも、より良いケアを目指して、この大切な取り組みを続けてまいります。



### スキルアップと資格取得を応援! 2026年度 介護実務者養成研修 実施予定

この研修は、介護職員が働く上で必要な質の高い知識と技術を習得するための重要な資格です。まずは法人職員を対象に、未来のIGLを担う人材育成を進めてまいります。

#### [研修のポイントと目的]

##### ●介護のプロへステップアップ

喀痰吸引や経管栄養など、より専門的な医療的ケアに関する知識と技術を習得します。

##### ●キャリアアップの基盤

介護福祉士国家試験を受験する際に必要となる研修であり、さらなる資格取得とキャリアアップの足がかりとなります。

##### ●質の高い介護提供

研修を通して、ご利用者様の安心と安全を守る、根拠に基づいた高度な介護技術の提供を目指します。

### ユニットリーダー実地研修施設の指定にむけて

IGLナーシングホーム信愛の郷が「ユニットリーダー研修」実地研修施設の指定にむけた取り組みをスタートします!

#### ●ユニットリーダー研修実地研修施設とは

全国のユニット型施設のアドバイザー・リーダー的な役割を担い、ユニットリーダー研修の実習生を受入れ、実践的な指導を行う施設です。法人内では、2024年にIGLナーシングホームシャレーが実地研修施設として指定を受け、実習生の受入れを行っています。



## ドイツからボランティア生が来ています！

東日本大震災の年、独日平和フォーラムから、日本に於ける国際青年奉仕活動(JFD)の依頼を受け、2011年度よりサムエル信愛・未来・サムエル広島のこどもの園でボランティア活動開始。今日を迎えています。子どもたちと一緒に、遊んだり歌ったり、縄跳びコマ回しなど保育者の仕事のアシストの一年間を過ごします。英語でドイツ語で子どもたちは、異文化に触れる豊かな時間を満喫しています。



左からフリーダさん、アンジェリーナさん、ロッテさん

## ロッテさん「ドイツの大晦日(Silvester in Deutschland)

ドイツの大晦日の過ごし方は、家庭によってとても異なります。

多くの家庭では、大晦日にラクレットやフォンデュを食べます。ラクレットでは、小さなテーブルグリルをテーブルの中央に置き、各自が自分専用の小さなフライパンで好きな具材を焼きます。よく使われる具材は、肉、じゃがいも、ブロッコリー、きのこ、パプリカ、ズッキーニ、トマト、とうもろこしなどです。最後にチーズをのせて焼くのが一般的です。

フォンデュを食べる人もいます。テーブルの中央にチーズやスープを入れた鍋を置き、パン、じゃがいも、野菜、肉などをその中に浸して食べます。チョコレートを溶かして、果物をつけて食べるチョコレートフォンデュもあります(これは私のお気に入りです)。また、家庭によってはポテトサラダとソーセージを食べることもあります。



## フリーさん「年末年始の過ごし方



・ 11月 1日 月曜日

- ・ シル・ジアンカ  
・ ラクレット } 朝食  
・ フォンデュ } 朝食
- ・ 11月 2日 火曜日
- ・ 11月 3日 水曜日
- ・ 11月 4日 木曜日
- ・ 11月 5日 金曜日
- ・ 11月 6日 土曜日
- ・ 11月 7日 日曜日

# IGLのクリスマス会

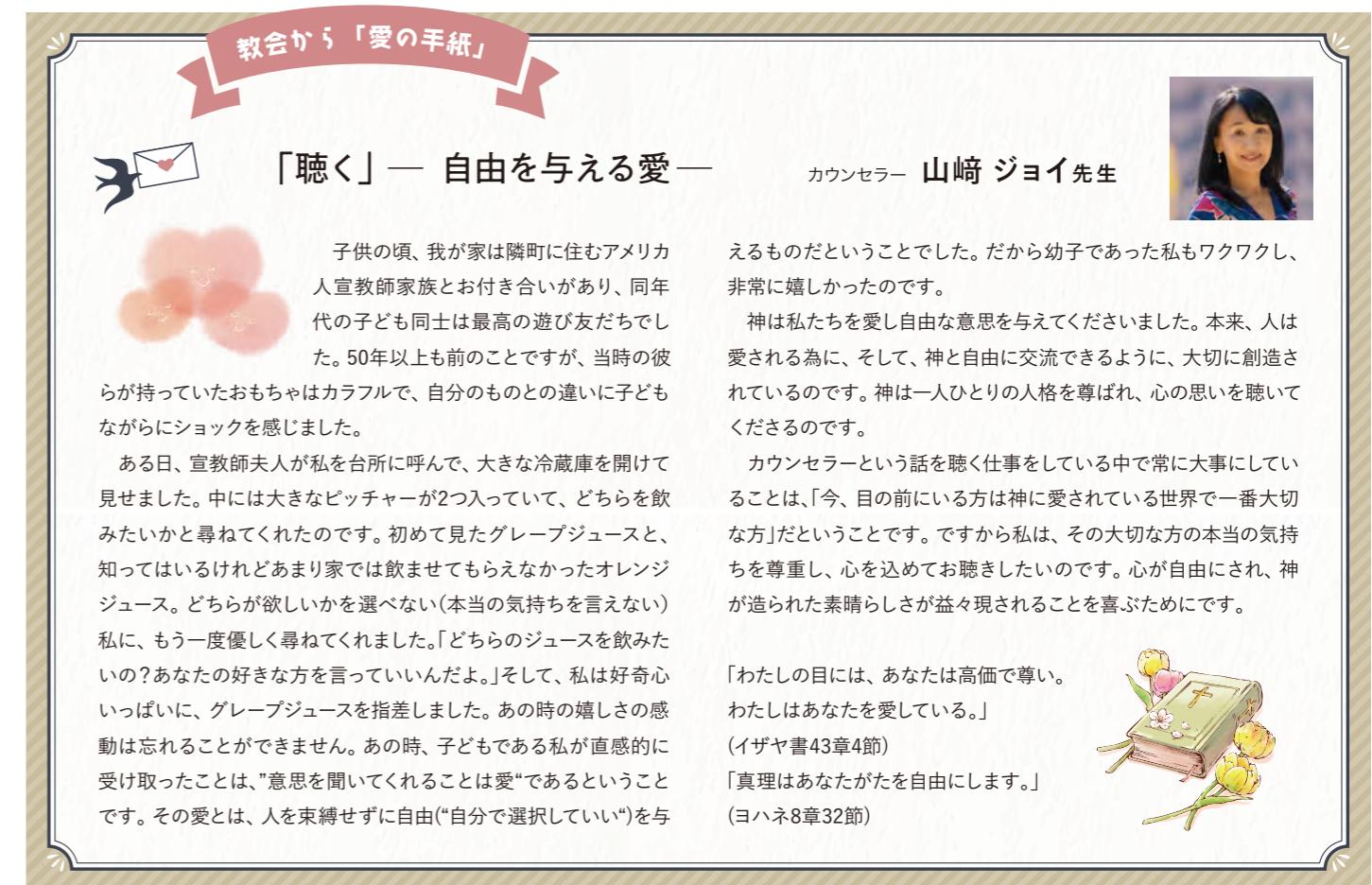
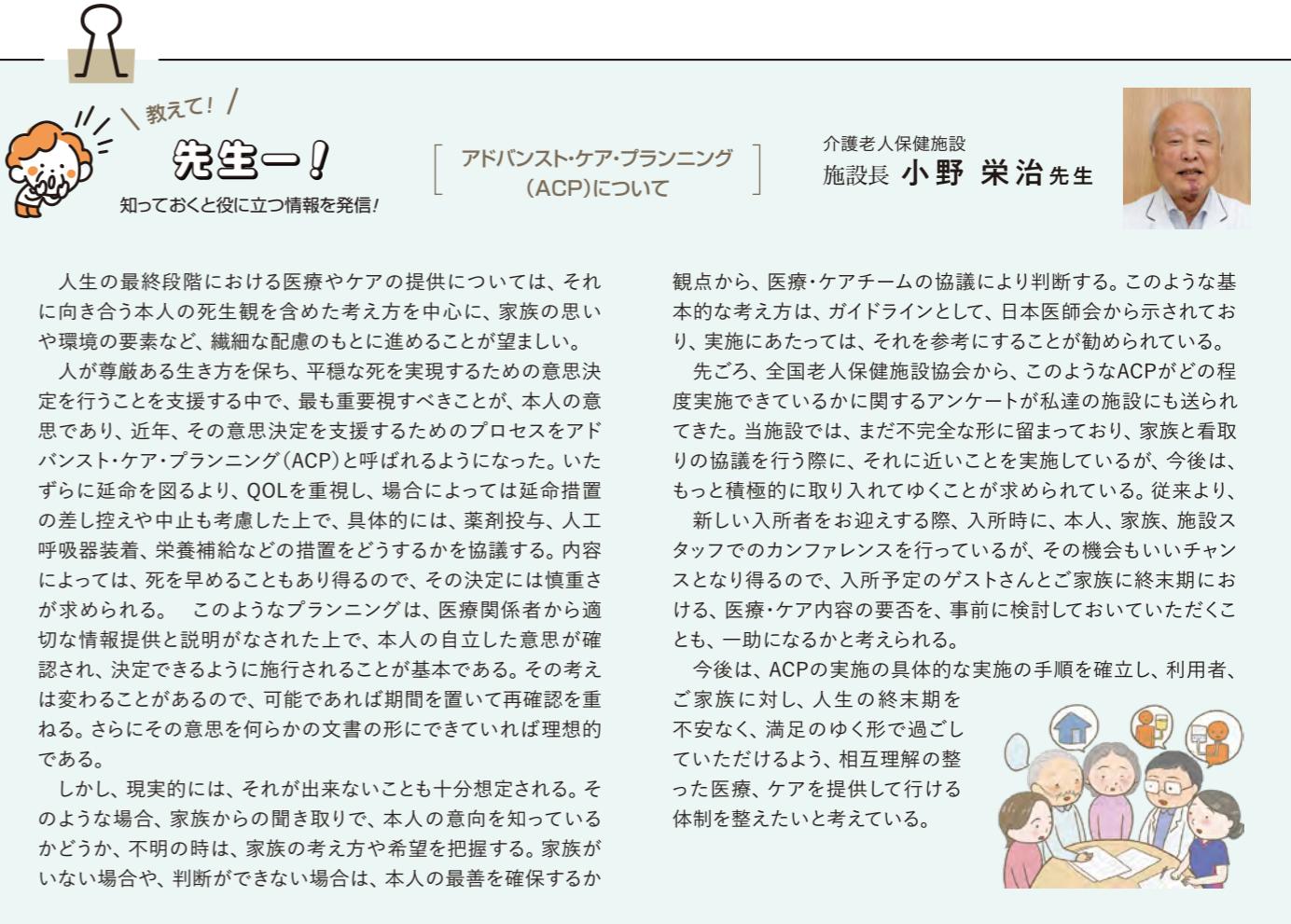
## 12月14日リーガロイヤルホテル広島 クリスマス会を開催し職員の勤労に感謝しました



## 職員表

## IGLダンススタジオによるキッズダンス

盛大に盛り上がりまし



IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

## 施設だより

vol.8

社会福祉法人IGL学園福祉会

### サムエル東広島こどもの園



住所 〒739-2125  
東広島市高屋町大字中島490-5

電話 (082) 420-4333

開設 1998年4月1日

職員数 69名

定員 255名  
(1号:15名、2号:144名、3号:96名)

※2025年12月現在



本園は、JR山陽本線「西高屋駅」から徒歩5分ほどのところに位置しています。その便利な環境に加えて、こども園の周りには田や畑、小さな川や森が点在し、子どもたちは自然や地域の方々の温かさから、たくさんの恵を受けています。

#### ひとこと

十数年前、学生の時実習園の一つにサムエルを選び、実習を受け入れていただいたことから私の人生の半分以上はサムエルに携わらせて頂き、今があります。これも神様のお導きでしょうか。日々感謝です。



新本 富子 園長

2025年度4月から異年齢保育をスタートしました。年上の子どもは思いやりや責任感が育ち、年下の子どもは憧れや向上心が芽生えたりとお互い遊びの中で自然に社会性も育っています。職員も異年齢保育の良さを子どもの姿から日々感じています。



園庭は乳児と幼児とに分かれておりそれぞれ緑豊かで高低差もあり広く、登れたり実のなる木も沢山あります。四季折々の自然いっぱいの環境に恵まれ、日々の遊びの中でいろいろなことを体験し生きる力や学ぶ力を育んでいます。



## LOVE注入♥レシピ

### 新年最初の食レク！ 具だくさんお味噌汁づくり レシピ紹介

材料 (4人分目安)

だし汁 ..... 600ml(かつお節、昆布などでしっかりと取ったもの)  
味噌 ..... 40~50g(味噌の種類や塩分濃度により調整。控えめがおすすめです)  
油揚げ ..... 1枚(熱湯をかけて油抜きし、食べやすい大きさに切る)  
青ねぎ ..... 1/2本(小口切り)  
かぶ ..... 1~2個(葉と茎は除くか、少量だけ入れる。皮をむき、一口大に切る)  
白菜 ..... 100g(ざく切り(芯と葉に分けておくと良い))  
\*ポイント:具沢山にするため、野菜は一般的なお味噌汁よりもやや大きめに切ると満足感が出ます。



#### 準備 ご利用者様の作業

- 1 かぶ:洗って皮をむき、一口大に切る。
- 2 白菜:洗って、ざく切りにする。
- 3 油揚げ:熱湯をかけて油抜きし、細切りまたは短冊切りにする。
- 4 青ねぎ:小口切りにする。



#### 調理手順

- 1 出汁を温める:鍋に出来汁を入れ、火にかける。
- 2 硬い食材から煮る:出汁が沸騰したら、火が通りにくいかぶ(芯の部分)を最初に入れる。
- 3 他の食材を加える:かぶが少し柔らかくなったら、白菜(葉の部分)と油揚げを加え、さらに煮る。
- 4 味噌を溶く:食材に火が通ったら、火を弱めて味噌を溶き入れる。
- 5 仕上げ:味見をして、最後に青ねぎを加え、さっと火を通したら完成。

## スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭
- 保育士
- 正看護師
- 准看護師
- 歯科衛生士
- ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー
- 相談員
- 送迎ドライバー
- キッチンスタッフ など



IGL グループ

[本部] 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていくたい。「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考え方から、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」と考えてています。